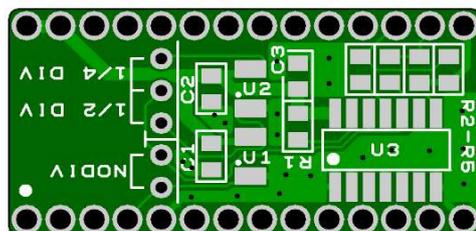


## TDA1541A Reclock Board 部品表 2022/5/8版



黄色の部品は付属しています。

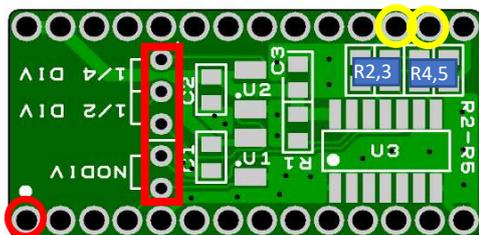
定数	部品番号等	数量
メイン基板		1
10K	千石など 2012サイズ R1-R3	3
2.2K	千石など 2012サイズ R4,R5	2
0.1uF 2012	秋月 P-00093 C1-C3	3
TC7WH74FU	秋月 I-10467 U1,U2	2
74HCT86	U3	1
ピンヘッダーL型 1x6(切って使う)	秋月 C-05336	1
ジャンパピン (何色でもOK)	秋月 P-03688など	1
丸ピンIC用ソケット シングル 14P	秋月 P-11451	2
TDA1541A	Aなしはつかえません。	1

### 免責事項

- 1) 本基板は実験基板であり、親切なキットではありません。 技術サポート等は一切行いません。
- 2) 基板の動作の完全性 (安全性、動作性を含む) は一切保証されるものではありません。
- 3) 本資料を参考に組み立て (部品調達を含む) が可能な方を対象としています。
- 4) 部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
- 5) 本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
- 6) 本基板の著作権は放棄していません。 同一のネットワークでの販売は禁止します。

### 組み立てについて

DACが乗るのは、部品面のほうです。裏表を間違えないようにしてください



R2-R5は、本画像を参照の上、実装してください

丸ピンICソケットは、黄丸部分の足 (ピンのみ) をカットしてください。  
またこの部分は絶縁して、相手側ソケットに触れないようにしてください。  
赤四角部分は、L型ピンヘッダを実装します。

赤丸が一番ピンです

丸ピンICソケットと基板は、すべてはんだ付けします。

写真のように、あまりはんだが盛り上がらないようにしてください。  
また、黄色丸部分は、ICピンのみカットして、かならずはんだ付けしてください。

はんだ付け後、黄色丸部分は絶縁してください。



### 設定について

DEMリクロックはビットクロックを使って行います。

TDA1541Aの個体によっては、ハイレゾなど再生すると雑音が出ることがあるため、設定にて変更ができるようになっています。

### ジャンパの設定

### サンプリングレートごとのリクロック倍率

NODIV (分周しない)	44KHz時 8倍 88KHz時 16倍 176KHz時 32倍
1/2 DIV (2分周)	44KHz時 4倍 88KHz時 8倍 176KHz時 16倍
1/4 DIV (4分周)	44KHz時 2倍 88KHz時 4倍 176KHz時 8倍

DEMは通常352.8KHzで駆動していると言われています。

このクロックを高速で動かすと音に有利になるといわれており、それがDEMリクロックの目的です。

4分周してもリクロックに耐えないTDA1541Aの場合、ハズレ個体ということでリクロックを諦めましょう。